

施策評価シート(令和3年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0104	政策名	観光の振興	施策主管課	観光課	課長名	藤井 淳
------	------	-----	-------	-------	-----	-----	------

政策の目指す姿 国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出しています

施策No	01	施策名	観光の魅力向上	関係課名	大迫・石鳥谷・東和地域振興課
------	----	-----	---------	------	----------------

施策の目指す姿 花巻にしかない魅力ある観光資源がたくさんあります

現状と課題

【現状】  
 ・市内には12の温泉群があり、大規模な施設から小規模な施設まで、個性の異なる様々な温泉宿泊施設が多くあります。  
 ・当市は、宮沢賢治、新渡戸福造、高村光太郎、萬鉄五郎など、全国的に有名な偉人のゆかりの地であり、それぞれの記念館などの施設があります。  
 ・世界文化遺産に登録された早池峰神楽、鹿踊などの郷土芸能、日本3大社氏の1つである南部社氏や国際的なコンクールで数々の受賞歴のあるワインや伝統的なまつりなど、多くの観光資源があります。  
 ・市内には、東北新幹線新花巻駅、東北自動車道花巻インターチェンジ、花巻南インターチェンジ、岩手県の空の玄関口であるいわて花巻空港などがあるほか、釜石自動車道に接続する三陸沿岸道路(仙台～八戸)の全線開通により、高速交通網の結節点としての利便性がさらに向上しています。  
 ・日本人観光客を中心として、旅行形態が団体旅行から個人型旅行へ変化しており、広域的な周遊観光や滞在型観光等、観光客のニーズが多様化しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人旅行や近隣地域内での旅行(いわゆるマイクロツーリズム)の比率や、ワーケーションやプレジャー等への関心が高まっています。  
 ・新型コロナウイルス感染症の影響による人流の抑制により、観光客は減少しており、特に県外観光客及び訪日外国人観光客は激減しています。  
 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの市内イベント等が中止となっています。  
 ・当市の観光においては、花巻温泉郷等への宿泊者を増加させることが市内への経済波及効果の観点から最も重要となっています。

【課題】  
 ・花巻温泉郷等への宿泊を促すため、宮沢賢治や花巻まつり、自然体験等の豊富な観光資源の組合せによる魅力的で多様なニーズに対応できる滞在型観光プラン(ワーケーション等も含む)の提案が必要です。  
 ・高速交通の結節点としての利便性を活かし、花巻への宿泊を含めた広域周遊観光ルートの提案が必要です。  
 ・国の観光施策が、登録観光地域づくり法人(登録DMO)による取組に対する支援ヘフトしてきていることから、観光地域づくりのかじ取り役を担う観光地域づくり法人(登録DMO)と、である花巻観光協会を中心とした観光振興が必要となっています。  
 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に深刻な影響を受けている温泉宿泊施設等の観光関連事業者に対する事業継続のための支援が必要です。  
 ・イベント等の開催にあたっては、イベント等に係る感染拡大リスクを抑制し、また、イベント等における感染防止策等を徹底する必要があります。

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性

- ・感染症終息後の教育旅行の需要喚起を行うため、例年の大型の市場である北海道での遠野、平泉、奥州と連携した広域での教育旅行誘致に取り組む。併せて、教育旅行先として選定されるため、SDGsに結びついた魅力的な体験コンテンツの造成に取り組む。
- ・DMOの認定を受けた花巻観光協会の活動を常に注視し、稼ぐ地域となるべき取り組みを行うよう促していく。
- ・市が支援しているまつりやイベントの実行委員会での検討初期段階から情報共有に努め、必要に応じ支援を行う。
- ・感染収束状況を見据えながら、誘客しようとするエリアを意識した事業を継続的に実施していく。
- ・計画的な修繕を行えるように交流会館の修繕計画を作成する。

反映状況

- ・様々なまつりの実行委員会等において次年度開催を危惧する意見が多くあり、まつり山車団体に対し継続支援として補助金を交付した。
- ・教育旅行については、市内宿泊施設に宿泊する教育旅行に対して市が運営する教育施設が無料で利用可能となる誘客事業を実施、団体バス利用補助の利用もあり、前年入込数を上回る実績となった。食用の牧羊農場が教育旅行の受入れを開始し、フェルト加工体験や毛刈り体験等の新たな体験メニューが造成された。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、入国制限等により外国人観光客が皆無となり、また、国の緊急事態宣言の発令などにより国内観光客も大幅な減少となったことから、県内客を対象とした宿泊等の利用料金助成事業を実施し、一定数の宿泊者数、日帰り入浴者数を確保することが出来た。
- ・東北ディスプレイネーションキャンペーン期間(R3.4.1～9.30)の誘客促進のため、特別企画として宮沢賢治の本物の雨二モメクス手帳公開等を実施予定だったが、岩手県独自の緊急事態宣言が発令され実施施設が閉館となり中止となった。R4.7.1～9.30のJR東日本管内で行われる北東北での重点販売期間に再度実施する予算を確保した。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

- (1) 観光資源の充実  
 地域の魅力的な観光コンテンツの創出及び既存の観光コンテンツの磨き上げ  
 ・近隣市町と連携し産業観光や体験型観光をPRする情報発信素材としての動画制作  
 観光施設の整備  
 ・道の駅「石鳥谷」施設再編事業の実施、大迫ふるさとセンター空調設備更新
- (2) 広域観光の推進  
 ・釜石沿線自治体等との連携によるSL銀河の運行を軸とした観光PRを行う活性化委員会への支援
- (3) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けた観光関係事業者等の支援  
 ・宿泊施設等利用料金助成、物産品キャンペーン実施  
 ・観光施設休館に伴い影響を受けた関連事業者に対し事業持続支援  
 ・大幅な需要現による影響を受けた貸切バス事業者のバス維持・整備経費を支援  
 ・山車団体への次年度まつり参加に向けた継続のために必要な経費を支援  
 ・岩手県が行った宿泊施設の感染拡大防止にかかる整備費支援に上乘せし支援

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
観光施設の入館者数	観光施設に魅力を感じて訪れた観光客とし、市が管理する施設への入館者の入場者数	出典：花巻市観光課 毎月調査、報告している観光統計数値(国基準に基づく調査)	万人	目標値			56.60	56.70	56.90	57.00
				実績値			34.00	32.19		
イベントの来場者数	イベントに魅力を感じて訪れた観光客とし、市が管理するイベントへの入場者数	出典：花巻市観光課 毎月調査、報告している観光統計数値(国基準に基づく調査)	万人	目標値			55.40	55.50	55.70	55.80
				実績値			5.04	3.31		
広域(花巻・遠野・平泉)観光客入込者数	近隣自治体との広域連携による周遊観光に力を入れていることから、連携している花巻、遠野、平泉に訪れる観光客数を指標に設定	出典：岩手県観光課、花巻市観光課 毎月調査、報告している観光統計数値(国基準に基づく調査)	万人	目標値			586.20	587.20	588.30	589.40
				実績値			303.80	304.90		

### 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>成果指標「観光施設の入館者数」・・・【達成c】              8月、9月に岩手県独自の緊急事態宣言が発出により、市関連施設が閉館対応となり、東北ディスティネーションキャンペーンの特別企画で宮沢賢治記念館での雨二モマケズ実物手帳公開、宮沢賢治童話村での童話村ライトアップ連日開催等を実施出来ず、令和2年度を下回る結果となった。</p> <p>成果指標「イベントの来場者数」・・・【達成c】              岩手県独自の緊急事態宣言が発出されたことにより、最も集客力のある8月、9月の花火大会や秋まつりが実施されなかったことから、令和2年度を下回る結果となった。</p> <p>成果目標「広域（花巻・遠野・平泉）観光客入込者数」・・・【達成c】              岩手県独自の緊急事態宣言が発出や全国各地での感染拡大に伴う国による緊急事態宣言、まん延防止措置の適用等により、当市のみならず遠野市、平泉町の観光客入込客数も大幅減となった。</p>

### 4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
・なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・（観光イベント開催事業費）新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、集客力のあるまつり等の開催がほとんど実施出来なかったが、コロナ禍の中での開催方法を検証する必要がある。</li> <li>・（広域観光推進事業費）S L 銀河運行終了後の釜石線沿線活性化のための取り組みを、沿線市町村等で構成している釜石線沿線広域エリア活性化委員会において検討を進める必要がある。</li> </ul>
新たに取り組むべき事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中、県内からの誘客が中心となっていたが、新型コロナウイルスワクチン接種が進む中、県外からの誘客を増やす取り組みが重要となる。</li> </ul>

### 5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況が収束傾向となる中、県外からの誘客事業に取り組む必要がある。</li> <li>・教育旅行の大型市場である北海道、大阪、都内等からの誘致をコロナ禍前の水準に戻す必要がある。コロナ禍を受けて東北管内を中心に近い花巻を教育旅行先として選択する地域が多かったので花巻を選択してもらうよう継続的な誘致活動が必要となる。</li> <li>・感染収束後のまつり、イベントの再開に向け、実施主体と連携して取り組む必要がある。</li> <li>・S L 銀河運行終了後の釜石線沿線活性化のための取り組みについて、検討を進める必要がある。</li> </ul>
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍を経た後の旅行需要の変化を見極めた上で、新たな観光需要に対応した事業をDMOである花巻観光協会と連携しながら実施し、誘客に努める。</li> <li>・「DMO」・・・観光地域づくり法人。観光庁が登録する観光地域づくりの舵取り役を担う法人。</li> <li>・県観光協会等が主催する教育旅行誘致に関する商談会等に積極的に参加し、最近の教育旅行の主要テーマであるSDGsに関連した当市の素材を売り込む。</li> <li>・市が支援し行われているまつりやイベントの実行委員会での検討段階から情報共有に努め、必要に応じ助言等を行う。</li> <li>・沿線市町村等で構成している釜石線沿線広域エリア活性化委員会において複数回協議する場を設定し、S L 銀河運行終了後の釜石線沿線活性化のための具体的な取り組みを検討する。</li> </ul>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象	意図	
			直結度		
020	<b>観光イベント開催事業費</b>	観光	一致	直結	C
	各地域における祭りやイベントの開催に対する支援 5,600千円 (支援イベント数 2件、支援イベント入込者数 0人) 開催準備に要した経費を支援、残負担金を雑入で受取り				
			A		
030	<b>広域観光推進事業費</b>	観光	一致	直結	C
	北上市との連携による産業観光・体験型観光等の情報発信、釜石線沿線広域エリア活性化委員会、花巻・遠野・平泉観光推進協議会が行う誘客事業への支援 1,042千円				
			A		
040	<b>観光施設維持事業費</b>	観光	一致	直結	-
	花巻市交流会館の改修方針の検討を継続的に実施、令和4年度から屋根改修等を今後5年間で継続的に実施することとした。(令和3年度予算執行なし)				
			A		
050	<b>道の駅「石鳥谷」施設再編事業費</b>	石地(商工)	一致	直結	-
	酒匠館内装等改修、広場、りんどう亭食堂空調設備改修工事、南部杜氏伝承館展示改修等業務委託 115,602千円(うちR2線越明許費27,940千円)				
			A		
060	<b>地域産業安定化事業費</b>	東地(商工)	一致	直結	-
	(株)とうわ地域資源開発公社の経営改善を図るための専門的なコンサルティング経費への支援 625千円				
			A		
070	<b>観光施設等感染症予防対策事業費</b>	観光	一致	直結	-
	岩手県が行う宿泊施設が実施する感染症対策に資する物品の購入等を支援する事業(補助率1/2)に併せて市で上乗せ補助(補助率1/4) 10,371千円				
			A		
080	<b>観光・物産事業者等緊急対策事業費</b>	観光	一致	直結	C
	宿泊施設等の利用料助成、宿泊者対象の物産品当選キャンペーン実施、コロナ禍で中止となったイベント支援、施設休館の影響を受けた事業者持続支援、貸切バス維持・整備経費支援、山車団体継続支援 802,584千円				
			A		
090	<b>東北デスティネーションキャンペーン推進</b>	観光	一致	直結	C
	東北デスティネーションキャンペーンの特別企画のための経費支出 1,548千円 (「雨ニモマケズ」本物の手帳公開は宮沢賢治記念館臨時休館により中止)				
			A		